

「SDGs未来都市」に選定（2019年7月1日）

富山県SDGs未来都市計画を策定し、県のSDGsの取組みを推進（現在第2期）

将来ビジョン

『環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」』



- ① 世界に誇れる雄大な「立山黒部」や「世界で最も美しい富山湾」など美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県
- ② 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」が確立した県




本県が目指す「SDGs未来都市」の姿

～本県発展の原点である「水」に焦点を当てたSDGs未来都市等提案～
2030年においても「美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かして持続的な経済発展を実現する県」

SDGsの推進に向けた県の取組み

- ・ SDGs推進に向けた取組みを環境・経済・社会の三方面から統合的に推進
- ・ 県内の様々なステークホルダーのSDGsの達成に向けた取組みを支援
- ・ SDGsの普及啓発・ステークホルダーとの連携を促進

環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」 富山県（2019年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	・2016年のG7富山環境大臣会合で国際的に資源効率性の向上や3Rの推進に協調して取り組む「富山物質循環フレームワーク」が採択されたものの、食品ロスの県民認知度が低く、食品ロス削減の推進に率先して取り組む必要がある。 ・本県を訪れる旅行者の観光消費額や滞在時間は全国平均より低い水準にとどまっており、これらの増加に向けた施策を展開する必要があり、この一環として、「立山黒部」や「富山湾」を素材とした観光商品化や高付加価値化に取り組む必要がある。	2. 関連するゴール 
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	【経済面】美しい山と海を有し、豊かな水の恵みを活かした経済発展 ①富山湾の恵みを活かした産業展開②サステナブル・シーフードの推進③再生可能エネルギーの導入 【社会面】「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立 ①レジ袋無料配布廃止、使用済小型家電等のリサイクル②食品ロス・食品廃棄物対策③海岸環境の保全活動 【環境面】地域固有の自然環境・水環境の保全 ①森づくりの推進②健全な水循環系の構築③海岸漂着物の削減④国際環境協力の推進	
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 【経済面】 ①「立山黒部」の世界ブランド化 ②国際的ブランド「世界で最も美しい富山湾」の活用 ③水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上 ④再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進 【社会面】 ⑤循環型社会・低炭素社会づくりの推進 ⑥「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立 【環境面】 ⑦立山黒部をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境の保全 ⑧環日本海地域の環境保全への国際貢献 ⑨清らかな水資源の保全と活用 ⑩水と緑の森づくり	6. 取組成果 ・「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立：全県的な食品ロス等削減運動（とやま食ロスゼロ作戦）の展開により、食品ロス削減のための取組みを行っている人の割合が2020年81.3%→2022年89.7%と2030年の目標97%を達成 ・立山黒部をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境の保全：水質に係る環境基準の達成は100%を達成しているが、自然要因に左右されるため、引き続き事業者による自主的な環境保全活動、若い世代の理解や参加を促すための体験会・観察会等の開催等、県民総参加による水環境保全活動を促進。 ・水と緑の森づくり：里山林の整備面積については、県民協働による里山整備の推進により、2020年3,603ha→2022年3,960haに上昇した。 ◆富山県SDGs推進連絡協議会の開催（令和5年3月） 市町村や経済界、有識者、NPOなど多様なステークホルダーとの連携を一層強化し、SDGs達成に向けた取組みを推進するため開催 ◆富山県SDGs宣言の募集（令和3年7月～）、富山県SDGs連携推進フォーラム及びワークショップの開催（令和4年11月～令和5年1月） 「富山県SDGs宣言」の募集を実施し、県民や県内企業等におけるSDGs推進を促進。	
5. 取組推進の工夫 ・各種計画へSDGsの理念を反映し、全庁的にSDGsに取り組むを推進。 ・富山県SDGs宣言を募集し、県SDGsウェブサイトに掲載し、県内企業等のSDGsの取組みを見える化。	7. 今後の展開策 ・引き続き、「山と森から富山湾へ 清らかな水の循環の創造」を基本理念とした取組みを進めることにより、課題解決に向けた自律的な好循環を創り出し、その成果を内外に発信することで「環境・エネルギーフロンティア」として地方創生・地域活性化に貢献することを目指す。 ・富山県SDGs宣言を行う企業・団体等の掘り起こしや宣言を行った企業等の取組みの優良事例等を発信。企業等の連携による取組みを促進し、県内のSDGsの更なる推進を図る。	
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	「富山県SDGs連携推進フォーラム」の開催や「富山県SDGs宣言」の募集を実施（R3.7～）。また、「とやま環境フェア2022」や、「食の王国フェスタ2022」において、「フードドライブ」、「とやま食ロスゼロ作戦」のPRを実施するほか、県内企業等のSDGsの取組みを専用サイトで発信	

令和5年度SDGs推進の主な取組み

県民総参加のSDGsの推進

○富山県SDGs連携推進フォーラム、ワークショップ

(1) 富山県SDGs連携推進フォーラム

SDGsに取り組む企業・団体の更なる推進を図ることを目的にフォーラムを開催。

開催日時 令和5年11月22日(水)13:00～16:20
開催場所 サンシップとやま福祉ホール
参加者 会場約50名
実施内容



- ・第一部 基調講演「ソーシャルメディア時代のSDGs」
講師: PIVOTチーフ・グローバルエディター竹下 隆一郎氏
- ・第二部 事例発表・トークセッション
「産学官の圧倒的可能性と地方デジタル化でSDGsに向き合う」
事例発表者: 宮森 穂氏(株式会社ミヤモリ代表取締役専務)、
吉野 英樹氏(社会福祉法人宣長康久会理事)
ファシリテーター: 竹下 隆一郎氏

(2) 富山県SDGs連携推進ワークショップ

SDGsに取り組む県民、企業・団体の皆様がSDGsの推進に向けた気づきやパートナーシップのきっかけづくりを図るためのワークショップを開催。

【第1回(経済面)】 令和5年12月5日(火) 13:00～16:00(16名参加)
【第2回(社会面)】 令和5年12月11日(月) 13:00～16:00(15名参加)
【第3回(環境面)】 令和6年1月17日(水) 13:00～16:00(16名参加)

講師: etincelle 代表 西野 美冬氏
環境市民プラットフォームとやま 堺勇人氏



カーボンニュートラルの推進

○富山型GXに向けたワークショップ

県全体でGX実現への取組みを進めるため、県内の事業者等を対象に、GXに関する知見の共有などを行うワークショップを開催。



- 【第1回】 令和5年10月17日(火)10:00～12:00(約50名参加)
- (1) 基調講演
「GX実現に向けて」 講師: 経済産業省GX推進企画室長 荻野洋平氏
 - (2) 事例紹介 YKK AP(株)、ハリタ金属(株)
 - (3) パネルディスカッション
- 【第2回】 令和6年3月11日(月)14:00～16:00
- (1) 講演
○「全国の中小企業等におけるGXの取組み」
講師 東京海上日動火災保険(株) 公務開発部 主任推進役 中塚啓二郎氏
 - 「国・県・市町村の令和6年度GX関連予算・事業」 富山県
 - 「森林J-クレジットの取組状況」 富山県
 - 「水田J-クレジットの取組状況」 (株)笑農和
 - (2) グループディスカッション

○とやまカーボンニュートラル地域リーダー育成講座

カーボンニュートラルの基本や実際の取組事例を学びながら、地域の活性化につながる「カーボンニュートラル」に取り組む人材を育成する講座を開催。

- (1) 富山会場(中・上級編)
- 開催日時 令和5年10月25日(水)13:30～15:30
開催場所 富山県民会館301号室
講師: 北陸銀行経営企画部サステナビリティ推進グループ副部長 島田善朗氏
- (2) 朝日町会場(初級編)
- 開催日時 令和5年11月23日(木)14:00～15:30
開催場所 アゼリアホール
講師: 環境省中部地方環境事務所地域脱炭素創生室長 新原修一郎氏
富山県カーボンニュートラル推進課課長補佐 吉田勲生氏

令和5年度SDGs推進の主な取組み

環境教育の推進

○とやま環境フェア

環境について幅広く学ぶことができる「とやま環境フェア2023」を4年ぶりに大規模会場で開催

開催日時 令和5年10月14日(土)～令和5年10月15日(日)
開催場所 富山県産業創造センター(高岡テクノドーム)

- 実施内容
- ・小島よしおさんトークショー ～一緒に海洋ごみ問題を考えよう～
 - ・春香クリスティーンさん カーボンニュートラルトークセッション
 - ・池田航さん トークショー&ecoクイズ
 - ・県内企業・団体等による体験・体感型の展示(工作体験、実験など)
 - ・フードドライブ、不要衣類の回収
 - ・その他イベント多数

参加者数 12,200人



ステージイベント



体験型ブース

海岸漂着物対策推進事業

○県内全域での漂着ごみ対策

【みんなできれいにせんまいけ大作戦2023】

- 市町村等と連携して、県民総参加の清掃キャンペーンを展開
- ・実施時期: 令和5年5月～9月
 - ・参加人数: 3万3千人

【とやま海ごみボランティア部】

県内の企業・団体等が参加する「とやま海ごみボランティア部」のメンバーによる清掃活動の促進

- ・メンバー合同での清掃活動
令和5年11月12日(日)、岩瀬浜海水浴場、参加人数: 約100人
- ・学びの場の開催
漂着物の調査方法等を学び、メンバー同士の情報交換を行う講座「学びの場」の開催(2回)

【とやま環境フェア2023での普及啓発】

小島よしおさんによるトークショー～一緒に海洋ごみ問題を考えよう～の開催や、関係団体と連携して漂着物削減につながるエコ体験やパネル展示を実施



とやま海ごみボランティア部による海岸清掃



小島よしおさんトークショー

令和5年度SDGs推進の主な取組み

とやまの清らかな水環境の保全活動の促進

○水循環に関する環境観察会の開催

若い世代を対象に本県の豊かで清らかな水環境に理解を深め、保全活動への参加を促すため、令和5年7～8月に「とやま森・川・海の環境観察会」を開催(小学生とその保護者109名が参加)



森と地下水の環境観察会



川の環境観察会

○名水巡りツアーの開催

本県の恵まれた水環境の魅力を再発見し、また、水環境保全の重要性を理解してもらうため、令和5年8月に「名水巡りツアー」を開催(小学生とその保護者44名が参加)



岩瀬家の清水

○水環境保全活動体験会の開催

地域の団体が行う水環境保全活動へ若者の参加を促進するため、令和5年10月に「水環境保全活動体験会」を常西用水プロムナード(「とやまの名水」の1つ)で開催(大学生等15名が参加)



清掃美化活動

「富山のさかな・水産加工品」ブランド化の推進

○とやまの食材プロモーション事業の実施

富山の食材の知名度向上や販路開拓を図るため、生産者と実需者をオンラインでマッチングする「とやま食材マッチング」サイトの運営や、高級飲食店等のバイヤーの利用拡大、鮮度の高い「富山のさかな」等を売りにした輸送事業など、食材プロモーションを総合的に展開。

(1)「とやま食材マッチング」サイトの利用拡大

とやまの食材マッチング登録生産者向けに定期的にバイヤーニーズのレポート配信(売り場での消費者動向など)、登録商品情報のブラッシュアップ指導など



(2)首都圏バイヤー県内招請ツアー

首都圏バイヤーを対象に、県内漁港や青果市場、生産現場等を視察いただき、県内生産者と首都圏バイヤーとの意見交換を行うことにより、候補商品の選定・掘り起こしを行う。(招請バイヤー:7社、実施時期:令和5年9月28日、29日)

(3)首都圏バイヤー向けPRイベント

(2)首都圏バイヤー県内招請ツアーで好評を得た食材等をPRするため、首都圏でのPRイベントを開催。首都圏バイヤーを対象とした研修会等を実施し、高級飲食店等への足掛かりを作る。(開催場所:築地場外市場魚河岸スタジオ、開催時期:令和6年1月19日、参加者:首都圏バイヤー等31者)

(4)「とやまの食」新幹線・航空機輸送事業助成金

新幹線輸送:1箱あたり2,500円(上限250千円)×4事業者
航空機輸送:1kgあたり50円(上限250千円)×4事業者

令和5年度SDGs推進の主な取組み

エシカル消費PR事業

○事業者との連携による「エシカル消費」のPR

県内の事業者と連携し、県民に「エシカル消費」をPRする取組みを実施。(※事業者により期間・内容は異なる)

事業事業者:アルビス(株)、とやま生活協同組合

実施期間:令和5年12月から令和6年2月

実施内容例:

- ①POP、のぼり旗、パンフレットの設置等
- ②利用者へのアンケート配付
- ③エシカルクイズ等イベントの実施 など

○シンポジウムの開催

日時:令和5年10月12日(木) 場所:富山県民共生センター

①基調講演

講師:法政大学大学院政策創造研究科 准教授 柿野 成美 氏

テーマ:「未来をつくるエシカル消費 -SDGs達成にむけて-」

②環境等に配慮した取組みを行う事業者によるエシカルセッション



①基調講演

○大学生による普及活動等

県内大学生がエシカル消費について学び、普及啓発に有効な取組みを企画及び実践し、その成果を発表。

○消費生活研究グループによるエシカル消費に関する研究等

県消費者協会が育成し、地域で活動する「消費生活研究グループ」がエシカル消費を調査研究し、消費者大会等で発表。



グループパネル展示

食品ロス削減の取組み

○フードドライブの定着・拡大

家庭から発生する手付かず食品の有効活用を促進するため、フードドライブの定着・拡大に向けた取組みを推進

<実施内容>

①フードドライブ実施団体への支援

資器材(のぼり旗、コンテナボックス等)の貸出し、食品提供側と受取側のマッチング支援、県HPでのPR

実施件数:101件(65団体により、15市町村で開催)※2月末時点

②食育推進全国大会などでのPR



【スーパーでの常設のフードドライブの様子】 【食育推進全国大会でのPR】
フードドライブ回収ボックス】

○フードバンク活動の促進等

県内のフードバンク活動の拡大・定着のため、普及啓発やマッチングの推進を実施

- ・賛同企業数:43社
- ・受取団体数:44団体
- ・食品提供事業者と受取側とのマッチング件数:119件
- ※令和6年2月1日時点

令和5年度SDGs推進の主な取組み

女性の活躍推進

○「とやま女性活躍企業」認定制度

企業の成長とウェルビーイングの実現に向けて、女性が活躍する県内企業等を県が認定し、公表する新たな制度を創設。中小企業等において女性が活躍しやすい職場づくりを後押しするとともに、「選ばれる企業」としてのブランド力向上と優秀な人材確保を支援。

【認定基準】

- ・女性の管理職比率
 - ▶産業ごとの全国平均値以上
- ・時間外労働等の時間数
 - ▶各月ごとに全て45時間未満
- ・女性活躍推進に向けた取組み
 - ▶具体的な取組みを1つ以上行っている
 - ▶男女共同参画チーム・オフィサーの設置等



【認定企業】

令和5年9月6日 第2回認定証交付式において、26社を認定
(令和4年度:32社 計58社を認定)



パートナーシップ宣誓制度

○富山県パートナーシップ宣誓制度



すべての県民が個人として尊重され、多様性を認め合い、誰もが安心して心豊かに暮らせる人権尊重社会を目指すとともに、県民一人ひとりのウェルビーイングの向上に繋がる取組みとして、令和5年3月1日から開始。

【パートナーシップ宣誓とは】

お互いをかけがえのないパートナーであることを約束する二人が、知事に対し、パートナーと共同して、パートナーシップにあることを宣誓するもの。県は、お二人の関係性を証明する「受領証」を交付。

【宣誓をすることができる方】

お二人が以下の条件を満たす必要がある。

- (1)成年に達していること
- (2)いずれか一方が、県内に住所を有しているか又は県内への転入を予定していること
- (3)現に婚姻していないこと
- (4)現に宣誓しようとする相手方以外の者とパートナーシップにないこと
- (5)宣誓に係るパートナーと直系血族若しくは三親等内の傍系血族又は直系姻族でないこと

【宣誓件数】

51件(令和6年3月15日時点)

5

令和5年度その他の取組み

経済

○黒部宇奈月キャニオンルート一般開放

令和6年の「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放・旅行商品化に向けたガイド養成、開業プレイベント、メディアを活用したPRを実施

○立山黒部アルペンルート持続可能性調査支援事業

立山黒部アルペンルートの全体構想の策定に向けた基礎調査、観光客の利便性向上のためのDX等への支援

○サイクルツーリズム情報発信事業

SNSを活用した情報発信や、北陸三県で連携したモバイルスタンプラリー等を実施

○とやまの農林水産物輸出促進事業

輸出ビジネスに関する専門家派遣、市町村と連携し輸出に意欲的な事業者を支援、地域商社を中心とした輸出プラットフォームの形成等

○伏木富山港港湾脱炭素化推進協議会の開催

県と民間事業者、関係市等で連携する港湾周辺の脱炭素化の取組みを検討

○カーボンニュートラル推進事業

10月を「カーボンニュートラル推進月間」に位置付け、トークイベントなど様々な啓発を展開

○県営水力発電所リプレース事業

4発電所（庄東第一、大長谷第二、仁歩、若土）の全面的更新の実施

○小水力発電導入可能性調査事業

小水力発電の導入拡大に向けて、河川や上下水道等を対象とした導入可能性調査などを実施

○再生可能エネルギー導入促進事業

県民や県内企業に対し、自家消費型の太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入を支援

○脱炭素化モデル中小企業育成事業

県内の中小企業を対象に、脱炭素経営に関するセミナーや検討会を開催し、脱炭素経営のモデル企業を育成

6

令和5年度その他の取組み

社会



○とやま環境未来チャレンジ事業

小学校で地球温暖化・3R・食品ロス対策等に関する学習プログラムを実施

○エコな配達推進事業

宅配便の再配達削減に関する啓発動画の作成・PRや宅配便の職場受取りキャンペーン等を実施

○食品ロス・食品廃棄物削減対策事業

フードバンク活動促進事業、期限間近商品の優先購入促進のためのポスター等における啓発等

○「第18回食育推進全国大会inとやま」の開催

「食で心も体も幸せに とやまから広げるウェルビーイング～未来につなげよう幸せの基盤～」を大会テーマに、様々なイベントを実施し、2日間で23,300人が参加

本県の多彩な食の魅力やそれを支える農林水産業の大切さを県内外に向けて発信

○家庭系食品ロス実態調査事業

食品ロス削減の取組みのデータとするため、家庭で発生する食品ロス・食品廃棄物についての実態調査を実施

○プラスチックごみリサイクル支援マッチングサイト構築事業

廃プラスチックの排出事業者とリサイクル業者、プラスチック製品メーカーによる新たな連携を支援

○「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業

酒造業者とのマッチング（酒粕、ワイン粕）、酒粕を給与した「とやま和牛 酒粕育ち」の販売促進

7

令和5年度その他の取組み

環境

○インフルエンサー活用生物多様性普及推進事業

インフルエンサーを活用し、とやま生物多様性フェスタの開催や生物多様性啓発動画を作成

○ナチュラリスト活動事業

ナチュラリスト活動への支援、ナチュラリスト養成講座の開催

○北東アジア地域の環境保全の推進

北東アジア地域自治体連合（NEAR）環境分科委員会の開催、環境に関するプロジェクトの検討

○災害廃棄物処理体制強化促進事業

災害廃棄物を適切かつ迅速に処理するため、災害廃棄物の仮置場の設置・運営に係る訓練を実施

○イタイイタイ病の教訓の継承と発信

県立イタイイタイ病資料館において、展示設備システム等更新、特別企画展、語り部事業、小中学校の課外学習の受入れ、外国語のリーフレットの作成等を実施

○富山県林業イノベーション推進総合対策事業

スマート林業の普及を図るため、ICT等の活用による安全性の向上や効率化の実証事業を実施

○里山再生整備事業

県民参加による里山林整備の実施、地域住民の維持管理活動を支援

○早生樹等を活用した地域循環共生圏構築モデル事業

中山間地域の活性化につなげるため、荒廃農地等で成長に優れた早生樹等を植栽し、バイオマス燃料として活用するモデル事業を実施

○森林J-クレジット導入モデル事業

カーボンニュートラルを推進するため、森林J-クレジットの創出をモデル的に実施するとともに、民間への普及を促進するためセミナーを開催

8

令和6年度SDGs推進に向けた主な取組み

- 黒部宇奈月キャニオンルート一般開放・旅行商品化運営支援事業 2,200万円
令和6年からの「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放・旅行商品化に際し、旅行者の満足度を高める取組み等を支援
- 黒部宇奈月キャニオンルート開業プロモーション事業 2,250万円
「黒部宇奈月キャニオンルート」の開業を祝う記念イベントや開業気運を高めるプロモーションを展開
- 「世界で最も美しい湾クラブ」加盟10周年記念ヨットレース開催支援事業 200万円
「世界で最も美しい湾クラブ」加盟10周年を記念し、民間団体が行うヨットレースと記念行事の開催を支援
- とやまの農林水産物輸出促進事業 1億2,590万円
「富山県農林水産物等輸出拡大方針」（令和8年度の輸出目標額：120億円）に沿って各種施策を展開
- カーボンニュートラル戦略推進事業 728万円
カーボンニュートラル戦略の目標達成に向け、推進月間（10月）での体験参加型イベントや小水力発電事業者向けの勉強会を開催
- 富山型GX推進事業 300万円
県内企業等におけるグリーン転換（GX）の実現に向け、脱炭素経営に取り組むための手引書の作成を支援
- 脱炭素化モデル中小企業育成事業 4,664万円
カーボンニュートラルの実現に向け、県内中小企業者を対象に、脱炭素経営のモデル企業を育成
- 再生可能エネルギー導入促進事業 1億2,516万円
カーボンニュートラルを推進するため、県民や県内企業に対し、自家消費型太陽光発電設備や再エネ熱利用設備の導入を支援
- 伏木富山港水素等受入環境検討調査 2,530万円
県内における次世代エネルギーの需要動向等を踏まえ、伏木富山港における水素等の受入に必要な設備・体制を調査
- ものづくり産業サーキュラーエコノミー推進事業 1,600万円
県内ものづくり産業におけるサーキュラーエコノミー（循環経済）推進に向けた普及啓発やクリエイティブ人材を活用した異業種連携の推進

9

令和6年度SDGs推進に向けた主な取組み

- デコ活参加促進キャンペーン事業 1,000万円
脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを実現する「デコ活」の普及啓発のためのキャンペーンを実施
- とやま環境未来チャレンジ事業 950万円
家庭における脱炭素の取組みを拡大するため、小学生を対象とした環境教育「とやま環境チャレンジ10」の実施と教材のデジタル化に向けたアプリの制作
- とやま食育フェア開催事業 600万円
県民の食育実践を促すため、取り組みやすい食育をテーマとした普及イベントや実践キャンペーンを実施
- 食ロスゼロアクション推進事業 400万円
食品ロス削減を推進するため、食品ロス削減につながる取組みの動画を活用した普及啓発を実施
- プラスチック資源循環促進事業 300万円
廃プラスチックの循環利用を促進するため、プラスチック排出事業者と製造事業者等のマッチングや資源循環に向けた協働をモデル的に実施
- 生物多様性活動推進事業 200万円
生物多様性保全活動が創出される契機づくりのため、企業と環境保全団体のマッチングイベントを実施
- 災害廃棄物処理体制強化促進事業 100万円
災害廃棄物対策の実効性の向上を図るため、災害対応の実務を担当する市町村職員や民間事業者を対象としたセミナーを開催
- 森づくりボランティアCO2吸収量認証事業 100万円
ボランティア団体等による森づくり活動を促進するため、森林整備活動によるCO2吸収量の認証制度を運用
- 県民総参加のSDGs連携促進事業 760万円
富山県SDGs宣言を行った企業・団体等がSDGsにかかる取組みを通じ、フォーラムやワークショップにおいて連携を図る場を設置
- SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 360万円
新たにインクルーシブ教育推進員を配置し、インクルーシブ教育システムの理念の普及や推進員による学びの場の見直しに関する助言、好事例のPR

10